

おたるフットサルカーニバル

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

1 はじめに

本ガイドラインは、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ等が安全に活動するために(公財)北海道サッカー協会によって更新される「新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン」及び「新型コロナウイルス感染対策を踏まえたフットサル活動マニュアル」を参考にまとめたものです。

2 参加者の対応

- ・ 参加チームは、感染対策担当者を設置し、参加申込書により事前に提出すること。
- ・ 全ての参加者は、大会2週間前から検温・体調の確認を行い、参加者本人や同居家族または身近な知人が次の事項に該当する場合は、参加を見合わせること。
 - (1) 平熱を超える発熱
 - (2) 咳(せき)、のどの痛みなどの風邪症状
 - (3) だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)
 - (4) 臭覚や味覚の異常
 - (5) 体が重く感じる、疲れやすい等
 - (6) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
 - (7) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・ 感染対策担当者は、指定された「健康チェックシート」を大会当日(試合日ごとに)に大会運営本部へ提出すること。
- ・ 会場において、未就学児、競技中(ピッチ内)における選手及び審判を除き、全ての参加者は、マスクを着用すること。
- ・ 参加者は、試合や活動の前後など、小まめな手洗い(30秒目安)、手指消毒を行うと共に、咳エチケットには十分配慮すること。
- ・ 飲食の際は、北海道の「感染防止行動の実践」を遵守すること。特にチームによる飲食については、大会時や移動時含め3密を避け、黙食を実践することにより、感染リスクを最大限回避すること。
- ・ 感染対策担当者は、参加者に対し、厚生労働省推奨の新型コロナウイルス感染確認アプリ(COCoA)を事前に(大会2週間前から)登録するよう推奨すること。
- ・ 感染対策担当者は、大会終了後2週間以内に参加者が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに大会運営本部へ報告すること。

3 当日会場での対応

- ・ 開会式及び閉会式は実施しない。
- ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない。
- ・ 試合後に両チームベンチ、本部席への挨拶は実施しない。
- ・ ベンチ前のチームの集合写真撮影は認められる。ただし、社会的距離を保つこと。
- ・ ベンチ前及びピッチ上での密集密接(手をつなぐ、肩を組む)となる円陣はしない。ただし、社会的距離を保ち円になって集まることは認められる。
- ・ ピッチ内でも咳エチケットを守る。
- ・ 飲水ボトル、タオルを共有しない。